

2021年3月24日

報道関係各位

一般社団法人電子情報技術産業協会

「第6回 JEITA ベンチャー賞」受賞7社が決定
— Society 5.0 の実現に向けた、ベンチャー企業との共創・連携を促進 —

一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA：代表理事/会長 石塚 茂樹 ソニー株式会社 代表執行役 副会長）は、本日、「JEITA ベンチャー賞」の受賞企業、7社が決定したことを発表しました。JEITA ベンチャー賞は、電子情報技術産業の総合的な発展のみならず、経済発展に貢献しうるベンチャー企業を表彰するもので、過去には株式会社 Preferred Networks や株式会社 MUJIN、株式会社 ABEJA など気鋭のベンチャー企業、計32社が受賞しており、本年が6回目の取り組みとなります。今回も「JEITA ベンチャー賞審査委員会」（審査委員長 荒川 泰彦 東京大学 名誉教授/特任教授）が成長性（先導性）、波及性、社会性の3つの視点からベンチャー企業を審査・選考した結果、第6回 JEITA ベンチャー賞はアイポア株式会社、エアロシールド株式会社、HMS 株式会社、ナレッジオンデマンド株式会社、株式会社ファームシップ、福島 SiC 応用技研株式会社、LiLz 株式会社の7社が受賞しました。

JEITA では現在、Society 5.0 の実現を事業指針として、CPS/IoT の社会実装による新たなビジネスの創出を目指し、各種事業を展開しています。JEITA ベンチャー賞はその取り組みの一環であり、IT・エレクトロニクス業界の発展に繋がるベンチャー企業を支援するとともに、JEITA 会員企業とスタートアップ（優良ベンチャー）企業との共創・連携・エコシステムの構築支援を目的としたものです。受賞企業が JEITA への入会を希望する場合は、「ベンチャー優遇特例制度」（JEITA ベンチャー賞を受賞した企業等が正会員として新規に入会する場合、申請により協会会費の負担を2年間免除する仕組み）を活用することができます。

今回受賞した7社のベンチャー企業は今後、JEITA の活動に参画いただくほか、Society 5.0 の実現を目指す CPS/IoT 総合展「CEATEC」への出展や JEITA が主催するシンポジウムやセミナーなどへの登壇、さらには JEITA 会員企業との交流支援などの特典が授与されます。

JEITA はベンチャー企業との共創・連携を促進し、Society 5.0 および CPS/IoT の社会実装をさらに推進していくことで、わが国が直面する社会的課題の解決と新たなビジネスの創出を目指してまいります。今後の取り組みにつきましては、随時発表いたします。

【本件に関するお問合せ先】

一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA) 経営企画本部 政策渉外部 広報室
TEL : 03-5218-1053 E-mail : press@jeita.or.jp

【受賞企業 7 社と審査評価の概要】（社名五十音順）

アイポア株式会社

代表者：直野 典彦（代表取締役）

本社所在地：東京都渋谷区桜丘町 26-1 セルリアンタワー 15 階

【審査評価】

アイポア株式会社は、ナノからマイクロサイズまで高精度な大きさの細孔をもつ半導体ポアセンサに、微粒子が細孔を通過した際のイオン電流変化を AI で解析することにより、微粒子の種類まで識別する技術の事業化を実現した。半導体の高精度な微細加工と、微粒子の細孔通過で生じるパルス計測への高度な AI 識別との双方に、研究に裏付けられた高い技術力を有することで、ウイルスや細菌などの微生物検査から環境測定、工業製品の検査など幅広い分野のソリューションに結びつけられる。世界が直面するウイルス感染防止対策をはじめ、社会問題の解決への貢献が期待される。よって JEITA ベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

エアロシールド株式会社

代表者：木原 寿彦（代表取締役）

本社所在地：大分県大分市大字木上 394-12

【審査評価】

エアロシールド株式会社は、紫外線を照射することによって屋内の空気を除菌する装置を開発した。医療機関、薬局、食品工場、高齢者施設、幼稚園、保育園、空港、交通機関、百貨店、オフィスなど多岐に渡る有人環境の施設において設置実績がある。それぞれの事例において、導入後の空気中における浮遊菌の減少量を測定し、設備の特徴による導入効果の知見をデータベース化している。コロナ禍にあり、ウイルスから身を守る技術に対する社会的要請が高まるなか、さらなる普及が期待される。よって、JEITA ベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

HMS 株式会社

代表者：HU ZHENCHENG（代表取締役社長）

本社所在地：福岡県福岡市中央区大名 2-6-11 Fukuoka Growth Next 303 号室

【審査評価】

HMS 株式会社はエッジ AI チップを内蔵した超小型の AI カメラデバイスと、広範な産業用途をカバーする AI ネットワーク及び、“オールインワン AI ソリューション”を提供する会社である。HMS 社が開発した、SiNGRAY A シリーズは、CES2019 において、“ロボティクス&ドローンイノベーション大賞”を受賞し、既に世界中で、ロボットや AGV、ドローン等で採用されており、複数の大企業等で量産採用も実現している。現場ですぐに“使える” AI ソリューションは、日本経済を支える数多くの中小企業の救世主となると考えられる。よって、JEITA ベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

ナレッジオンデマンド株式会社

代表者：宮下 知起（代表取締役 CEO）

本社所在地：東京都千代田区大手町 1-9-2 大手町フィナンシャルシティ
グランキューブ 3階 Global Business Hub Tokyo

【審査評価】

ナレッジオンデマンド株式会社は、製品・サービス・業務マニュアルなどをクラウド上でデジタルデータとしてチームで共有しながら編集および作成を進め、タブレットやスマホなどに配信し共有できる仕組みを提供している。現在国内40社への導入実績があり、業務プロセスの改善、品質向上、リードタイムの削減などを実現しており、今後は多言語翻訳サービスを利用したグローバル展開や製造業の技術承継のマニュアル化などへ展開を進めることで、働き方改革やDX化・ペーパーレス化が進む中、さらなる利用拡大が期待される。よってJEITA、ベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

株式会社ファームシップ

代表者：北島 正裕（代表取締役）

本社所在地：東京都中央区日本橋浜町 3-9-5 TOKYO MIDORI LABO 4階

【審査評価】

株式会社ファームシップは、独自開発の専用LEDを用いた製植物工場の供給を行うほか、パートナー企業との提携により日本最大級の大規模植物工場ネットワークを構築。AIを用いた需要予測を行う等広く展開実績がある。大規模植物工場の技術を駐車場約1.5台分の大きさのコンテナに集約したBlockFARMは省スペース性を獲得し、植物工場の波及性を一段と向上。海外展開も進めている。環境要因に左右されず、衛生的かつ安定生産が可能な完全閉鎖型の環境下での栽培は、時代のニーズと共に今後更なる普及が期待される。よってJEITAベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

福島 SiC 応用技研株式会社

代表者：古久保 雄二（代表取締役）

本社所在地：福島県双葉郡楡葉町大字山田岡字仲丸 1-7

【審査評価】

福島 SiC 応用技研株式会社は、パワー半導体材料である SiC のセラミック基板への直接実装技術により実現した高電圧・大電流の電源回路技術を独自製品である中性子源の電源に応用し、SiC BNCT を実現した。本電源による低加速電圧と独自の多門照射を組み合わせることにより遮蔽層の薄型化と体内深部への治療を合わせて可能にし、既存のレントゲン室への設置を可能とする。今後は 2021 年に臨床試験機を納入し治験実施し、その後製品化の予定。ガン治療への利用拡大が期待される。よって JEITA ベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

LiLz 株式会社

代表者：大西 敬吾（代表取締役社長）

本社所在地：沖縄県宜野湾市我如古 2-3-7 2 階

【審査評価】

LiLz 株式会社は、BLE Long Range と LTE の併用により、1 日 3 回の撮影で 3 年間電池駆動稼働する低消費電力 IoT カメラとクラウド側で機械学習・画像解析によりアナログ計器の値を自動読み取りし、保守点検 s 作業効率化を実現できる IoT/AI サービス「LiLz Gauge」を事業展開し、労働力不足解消対策に貢献するだけでなく、コロナ禍におけるリモート化、不安全作業の軽減などの業務効率化を達成している。これにより、設備の維持管理コストの削減に加え、蓄積されたデータ分析による省エネルギー化および予兆検知によるダウンタイムの削減にも効果を発揮することが期待されている。よって、JEITA ベンチャー賞に相応しい企業と判断した。